

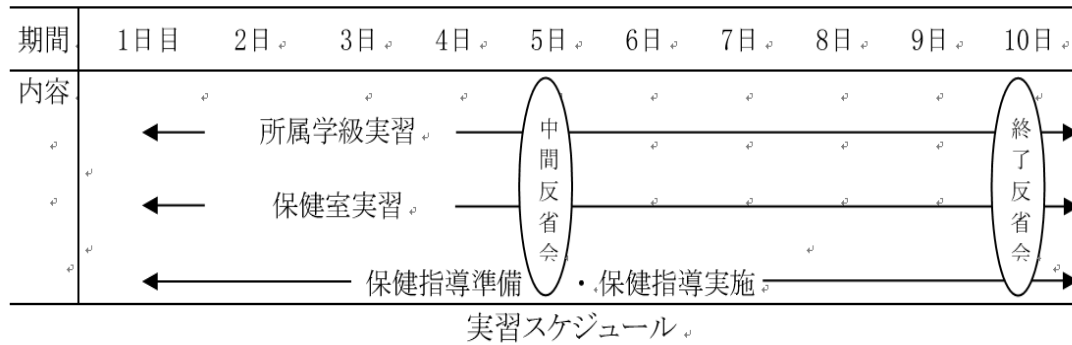
授業科目名	養護展開実習	担当教員名	土江梨奈			
開講年次及び学期	4年次	必修・選択の別	選択			
開講形態	実習	時間数	2週間	単位数	2	
授業概要						
<p>養護実習は、講義や演習・実習で学んだ看護・養護に関する教科、教職に関する教科の知識や技術をもとに、実際に市内の小中学校において、養護教諭や一般教諭等の指導・助言を受けながら、より具体的に養護教諭としての職務を実践する。</p> <p>実習内容は実習校の状況に合わせて計画され、期間中の学校行事等を考慮した内容になる。</p>						
G I O (教育目標)						
<p>養護教諭として学校教育への参加・実践を通して、学校保健活動の計画・実施・評価や職務の実際および課題を知り、実践的・教育的能力を獲得する。</p>						
S B O (到達目標)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 児童・生徒の心身や社会面の発達、生活の状況、健康問題の特徴を理解できる。 2) 学校における健康問題を組織的に解決・予防していく過程を理解できる。 3) 実習校の特性を踏まえた教育計画と、その中での学校保健活動の位置づけを理解できる。 4) 養護教諭の実務の体験を通して活動を理解し、養護教諭の役割と自己の課題を考えることができる。 5) 保健室の機能と経営の実際を学び、保健室のあり方を考えることができる。 6) 保健室を訪れる児童・生徒のニーズに応えた基本的な対応ができる。 7) 学校における教職員の職務内容と連携のあり方を理解できる。 8) 家庭生活や地域社会の実情が子どもの健康問題と密接に関係していることを理解できる。 						
成績評価の方法						
<p>実習校の担当教員の評価と、実習指導者の評価を総合して評価する。</p>						
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・「新版・養護教諭執務のてびき 第10版」, 石川県養護教諭研究会編, 東山書房 ・「学校保健実務必携」(第3次改訂版), 学校保健・安全実務研究会編著, 第一法規 						

授業計画

実習内容

実習内容は実習校の状況に合わせて計画される。実習期間中の養護教諭の活動内容、行事等を考慮した内容になる。講話・観察、参加、実習する機会がない場合は、可能な限り講話や説明を受け、資料等で学習し養護教諭の執務全体を把握できることが望ましい。

- 1) 実習を行う、前年度の8月に実習校へ挨拶に行き、実習計画書の作成について実習校と相談しておく。
- 2) 実習初日にはオリエンテーションを受け、実習校の状況に応じて実習計画を修正する。
- 2) 実習後半には集団を対象とした保健指導（または保健学習）を行う。
- 3) 養護実習計画書に保健指導および反省会の日時が記載されていない場合、または変更になった場合は、最終決定後、速やかに日時を大学教員へ報告する。



備考

- ・ 本科目を受講するためには、「事前指導・事後指導」（1単位）を受講する必要がある。